

男女共同参画社会の実現には、言葉の意味をしっかりと理解することも大事！

1. ジェンダー平等

一人ひとりの人間が、性別に関わらず、平等に責任や権利や機会を分かち合い、あらゆるものごとと一緒に決めることができることを意味しています。

男性と女性は、体のつくりは違っていますが、平等です。しかし、今の社会では、個人の希望や能力ではなく、「性別」によって生き方や働き方の選択肢・機会が決められてしまうことがあります。

そこで、世界中で、社会的・文化的に作られた「性別（ジェンダー）」を問い直し、一人ひとりの人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会を創るための取組みが行われています。

「ジェンダーの平等」は、SDGs（持続可能な開発目標）の重要な目標の一つにも掲げられています。

2. 性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）

男女問わずすべての人が持つ、性に関する健康の権利です。いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由、性感染症や、避妊に関する正しい知識を持ち、安全で満足のいく性生活、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つことなどが含まれて

います。また、妊娠、出産は女性の問題だけではなく、性と生殖に関する男女の平等な関係、同意、共同の責任であるという認識など、男性の性に関する役割と責任も重要とされています。

3. 多様性

人間社会での「多様性」とは、人々が異なる性別や年齢、人種、信仰、生まれ育った環境や文化、経験、能力などを持っていることを指して使われます。また、それら「差異に対する理解や尊重」があることが前提で使われることが多い言葉です。

同じ意見を持つ「多数派（マジョリティ）」だけで物事を進め

ると、イノベーションは生まれません。「少数派（マイノリティ）」の考えが否定されず、様々な「違い」をお互いが認め合う「多様性」があつてこそ「新しいモノやコト」は生まれます。

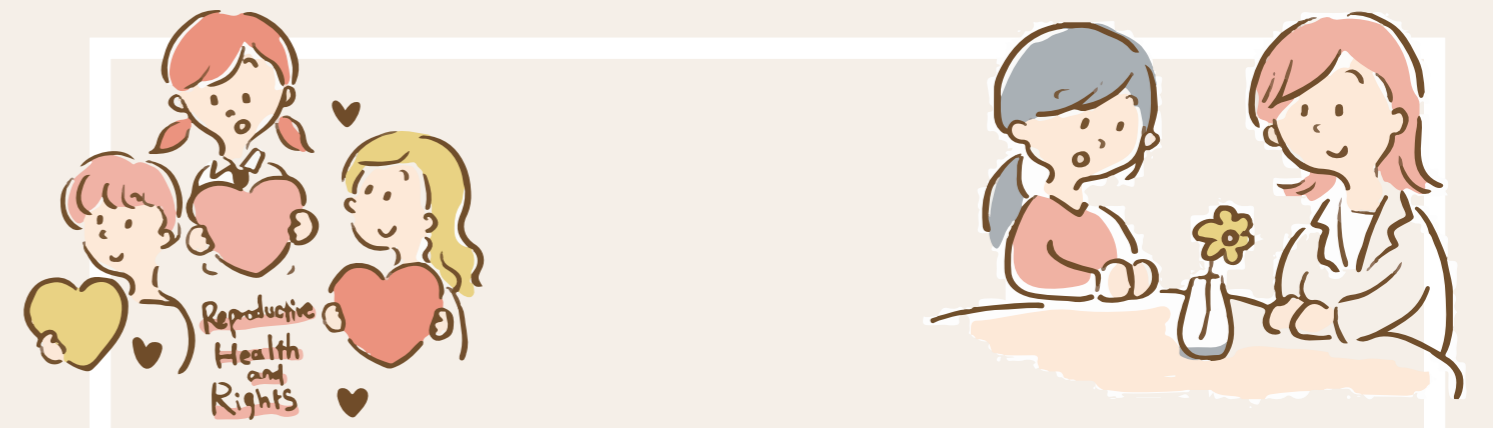
※イノベーション…「新しい考え方」や「技術革新」という意味。

4. デートDV

DVは、Domestic Violence（ドメスティック・バイオレンス）の頭文字。Domesticには「家庭の」などの意味、Violenceには「暴力」という意味があり、デートDVは、恋人同士での暴力を指す言葉として使われます。

例としては、殴ったり蹴ったりする「身体的暴力」、嫌な言葉

や脅し文句を投げかけたり無視をするなどの「言葉の暴力」のほか、お金や性的な暴力、近年ではSNSを使った嫌がらせなども起こっています。デートDVの大きな問題は、「好き合っている相手だから何をしてもいい」「好きな人からなら、何をされても仕方ない」という間違った意識です。



大津町男女共同参画 中学生向けリーフレット

互いを認め合い、 自分らしく生きる！



「困ったとき」、「困っている人を見かけたら」
いつでも相談できる窓口があります。

■チャイルドライン

18歳以下の子どもを対象に電話相談と、チャットによるオンライン相談を実施しています。

チャイルドライン電話相談
TEL.0120-99-7777
毎日16時～21時
※12月29日～1月3日は休み

チャイルドラインチャット相談
カレンダーによる16時～21時
※カレンダーは、QRコードのカレンダーをご確認ください。

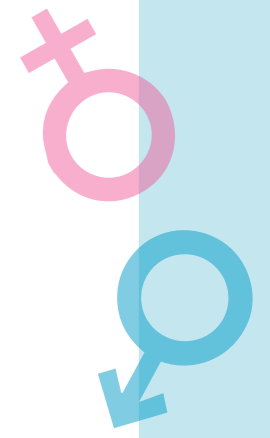
■熊本県女性相談センター

配偶者やパートナーからの暴力に悩む方からの相談を受け付けています。
TEL.096-381-7110
平日8時30分～22時（土日祝は9時～）

男女共同参画ってなんだ？

「男だからメソメソするな」「女だから料理くらいできないと」。こんなセリフ、聞いたことはありませんか？
もし、あなたが今まで「そんなものか」と聞き流していたのなら、ここで一度考えてみましょう。
「男だからメソメソしてはいけない」。なんで？
「女だから料理くらいできないといけない」。どうして？

男女共同参画とは、家庭も学校も職場も含め、その人に「これをやりたい」という意欲があれば、「性別の差に関係なく、個性や能力に応じてチャレンジできること」。そして、みんなでそんな社会をつくるための言葉です。
男女共同参画社会の実現には、行政や企業における女性管理職の登用、男性の育児休暇取得の推進など、国や自治体、企業などが取り組むことも必要ですが、まずは私たち一人ひとりが、「男だから」「女だから」という考え方にとらわれないことも大切です。



男女共同参画が実現した社会とは

大津町の中学生に対するアンケート結果

学校ならこんな感じ

1. 将来の夢を自由に描ける

やりたいことや進路に、性別は関係ない。自由に夢や目標を描き、人の夢も、否定せずに応援してるよ。

2. 価値観や好みは違って当たり前

「みんな同じ」じゃ、世の中は退屈。人それぞれの違う価値観、違う好みを認め合ってるよ。



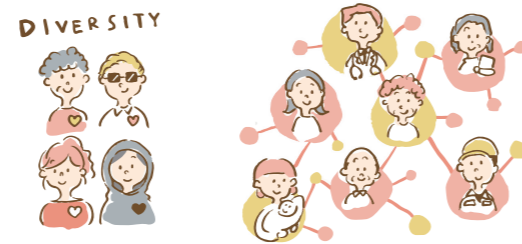
地域ならこんな感じ

1. 性別に関係なく、協力し合う

「男がやるべき」「女がやるべき」という理由ではなく、「できる人が協力し合って」いるよ。

2. 何かを決める時は、男女がともに参加

話し合いには男性も女性も参加。いろんな視点を活かして、より良い地区にしようと頑張ってるよ。



家庭ならこんな感じ!

1. 家での仕事は平等

「早く帰宅したほう」「仕事を休めるほう」「手が空いているほう」が家事や育児、介護をやってるよ。

2. 個性を性別の枠にはめない

着る服や趣味に、性別は関係なし! 家族それぞれの個性や自主性を尊重してるよ。

3. お互いを思いやれる

家族同士、思いやりを大事にしているから、安心できる家庭だよ。



職場ならこんな感じ

1. 採用や昇進は、性別ではなく能力で

採用や部署の配置、登用や昇進は、性別ではなく、個性や能力によって決められているよ。

2. 多様性を仕事に活かす

性別や考え方、生まれ育った環境も文化も違う人が集まっていることを、より良い商品やサービス開発につなげているよ。

3. 自ら望む働き方ができる

育児や介護休暇、時短勤務に、性別は関係ない。男性も女性も、その人が望む働き方ができる。

4. 男性と女性が、お互いを尊重

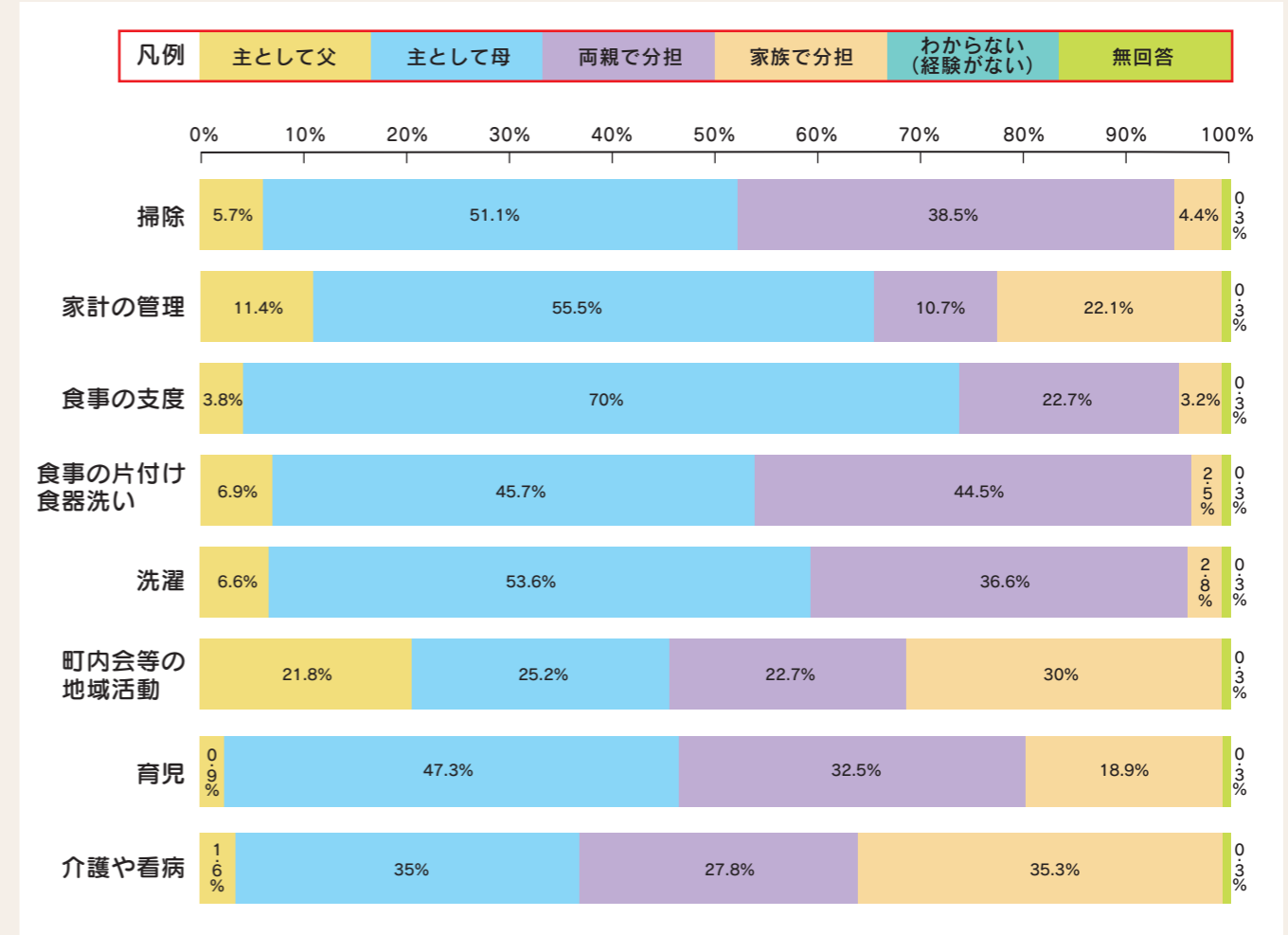
お互いを理解し尊重し合っているから、性別にかかわるハラスメントは絶対にないよ。



これって当たり前なの?!

家庭での役割は、やっぱり「お母さん」に負担が大きい!

Q. あなたの家庭では、家事等について、主にだれが行っていますか?



上記のグラフは、令和3年度、大津町の中学生に対して行われたアンケート調査の結果です。

見ると分かるように、家庭における、掃除、家計管理、食事の支度、食事の後片付け、洗濯、そして育児を行っているのは、「主に母」という回答が多数。「主に父」の

回答が圧倒的に少なく、現代にあっても日本では、家事は女性の役割という意識が根強いことが分かります。

両親が共働きの家庭も少なくない中、家事の負担が「お母さん」に大きく偏っていることは「当たり前」なのか、一度考えてみる必要がありそうです。

考えてみよう

Q. 将来の夢に「保育士」と書いた男の子がいます。どう思いますか?

Q. 日本の国会議員に占める女性の割合は、G7*の中で最下位です。どう思いますか?

*G7(ジーセブン)
アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、日本、イタリア、カナダで構成する首脳会議、もしくはその先進7カ国を指す。

考えてみよう

Q. まだ小さい弟が熱を出すと、仕事を休むのはいつもお母さん。これは当たり前だと思いますか?

Q. 家族から、「男だって料理ができるようにならないと」と言われました。賛成ですか?